4 将来都市構造

4-1 都市の機能・軸・ゾーンの設定

都市づくりの目標に対して、機能・軸・ゾーンを設定し、将来の都市構造の概念を 整理します。

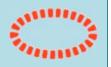
機能

商工業を主

とした産業 の中心的位 置づけ

大竹駅を中心としたエリア

大竹地域は、大規模な工場が集積するとともに、多くの商業・業務機能を 有し、各種公共公益施設も多く立地しています。また、近隣市町からの通勤、 通学、商店利用者が多い地域です。



大竹地域の中心となる大竹駅周辺では、広島県の西の玄関口として、交通 結節点としての駅の利便性の向上や、賑わい・活力・魅力あるまちづくりの ための整備が進められています。

商業・行政・ レクリエー ションの中 心的位置づけ

市役所周辺エリア

市役所が立地する小方地域は、本市の市街地の中央に位置しており、臨海部の晴海臨海地区は市民の集いの場として、大きな可能性を有しています。また、JR 山陽本線の小方新駅の建設構想、小方地区のまちづくり基本構想を策定し、本市全体の賑わいにもつながるような地域の魅力向上に取り組んでいます。

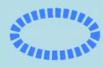


道路交通に関しては、大竹インターチェンジが隣接市町との広域連携の重要な位置づけとなっています。また、一般国道 2 号岩国大竹道路の建設が進められており、ますます広域連携機能が強化されることとなります。

医療・保健の中心的位置づけ

玖波駅周辺エリア

玖波地域は,海岸部と山間部に挟まれた,海と緑が身近に感じることができる地域で,廿日市市に接しています。



玖波駅周辺においては、地形条件に応じた多様な居住の場が形成されている一方で、広島西2次医療圏の中核病院である国立病院機構「広島西医療センター」を有するなど、医療や保健についての機能が備わっている地域となっています。



軸

広域連携軸

本市の広域的な連携を担う広域連携軸として、以下の公共交通ネット ワークや各幹線道路を位置づけます。



- JR 山陽本線
- 高規格道路(山陽自動車道·広島岩国道路)
- 一般国道2号岩国大竹道路(事業中)
- ・一般国道2号 など

機能連携軸

本市の各地域が有する各機能を結ぶ機能連携軸として、以下の公共交 通ネットワークを位置づけます。



- JR 山陽本線
- ・こいこいバス など

地域連携軸

本市の機能間の連携や、本市の各地域間を結ぶ地域連携軸として、以 下の幹線道路や航路を位置づけます。

- 一般国道 186号
- 主要地方道岩国大竹線
- 主要地方道大竹湯来線
 - 一般県道大竹美和線
 - 一般県道栗谷大野線
 - 一般県道乙瀬小方線
 - 一般県道栗谷河津原線
 - 阿多田~小方航路 など

ゾーン

賑わい創生 ゾーン

本市の賑わい・活力を生み出すゾーンとして、各地域の中心部を位置 づけ、計画的な市街地の整備・開発を進めます。

・大竹, 小方, 玖波地域の商業系用途地域周辺

環境共生型 産業ゾーン

瀬戸内地域で有数の臨海工業地区を有する本市の工業エリアを環境共 生型産業ゾーンとして位置づけ、居住環境と調和し、都市景観として の魅力も生み出す工場の生産・流通を強化します。

• 市街化区域内の工業系用途地域周辺

居住環境調 和ゾーン

既存の居住エリアや既存集落を居住環境調和ゾーンとして位置づけ、 生活環境の維持と、近隣の自然とが調和した豊かな居住環境を形成し ます。

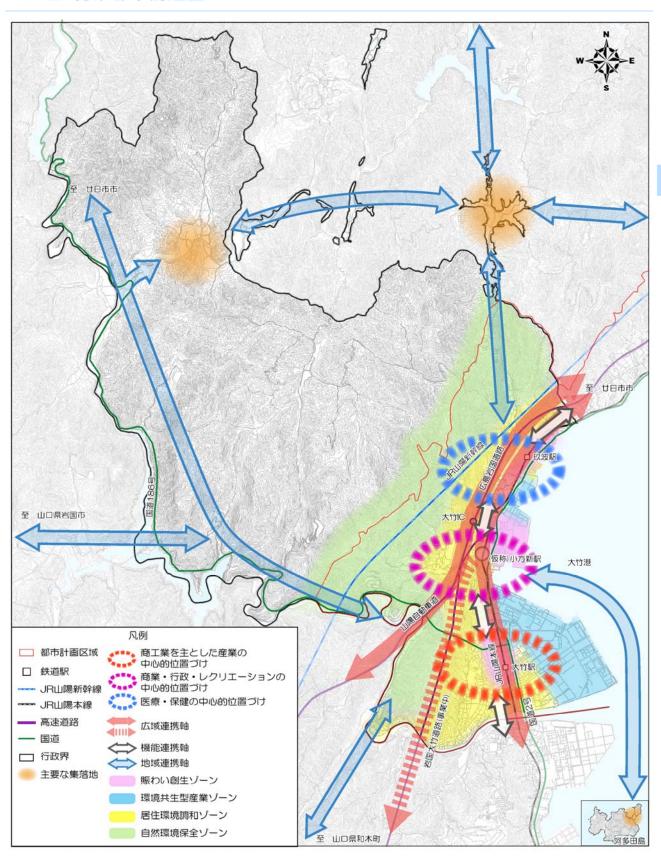
- 市街化区域内の住居系用途地域周辺
- 市街化調整区域の既存集落周辺

自然環境保 全ゾーン

山間部の豊かな自然を有するエリアを自然環境保全ゾーンとして位置 づけ、自然環境や自然が生み出す景観を保全します。

- 市街化区域内の自然地
- 市街化調整区域の山間部

4-2 将来都市構造図

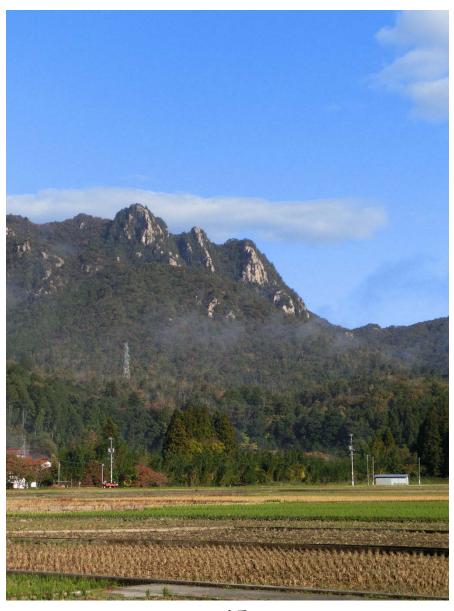


将来都市構造図



【都市計画区域外の地域について】

本市では、都市計画区域外の地域が市全体の約70%と多くを占めており、豊かな 自然環境の中に集落が点在しています。都市計画法に基づく整備の方針は都市計画区 域内のみが対象となりますが、都市計画区域外については、地域の資源を保全・活用 しながら、地域の活性化やコミュニティの維持を図っていきます。



三倉岳